

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 1 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '下水道受益者負担金・使用料徴収事業'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像), ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about beneficiary burden and wastewater fees.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図 and various indicators (活動指標, 対象指標, 成果指標) with data for 26-30 years.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input volume (expenses) for 26-30 years, categorized by source (国庫支出金, 県支出金, etc.) and personnel costs.

Table showing internal expenses (事業費の内訳) for 27 and 28 years, listing items like 08 報償費, 12 役務費, etc.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 3 columns for implementation content for 28, 29, and 30 years, including notes on beneficiary burden and fee collection.

事務事業名	下水道受益者負担金・使用料徴収事業	事務事業No.	40703000127	所属課	下水道課
-------	-------------------	---------	-------------	-----	------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 受益者負担金については、桜川市受益者負担金条例に基づき供用開始前年度または供用開始年度に共用開始区域の原則全受益者から徴収し、下水道使用料については、桜川市受益者負担金条例に基づき下水道に接続した使用者から徴収している。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 低所得者、高齢者等の下水道に接続する資力がない住民から、負担金が払えないとの意見がある。 接続率を上げて使用料の増収を図り経営の安定化を図るようこの意見が議会から出ている。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 平成15年度供用開始当初は、公共下水道への接続は順調に伸びていくと予想していたが、地域の経済低迷と高齢化のため、下水道使用料収入が想定よりも少ない状況にある。	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 受益者負担金と下水道使用料を財源として、下水道や処理施設の整備費用に充てることが下水道事業の基本原則である。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市の下水道財源確保の為の事業であり、賦課徴収事務の一部を民間や水道課に委託しても、業務の根幹は市が行わなければならない。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 滞納対策を強化し収納率を向上させる。下水道への接続を向上させて下水道使用料収入を増加させるなどの策が考えられる。
有効性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市の財源確保の事業であり、賦課徴収事務を廃止した場合、下水道整備と維持管理が困難となる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合） <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 具体的な手段、事務事業名 平成20年4月から、水道料金と下水道使用料が同時徴収になった。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 受益者負担金の賦課調査と収納消し込み及び下水道使用料の徴収等における業務に係る収納消し込みは、それぞれ民間と水道課に委託しており削減は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 受益者負担金、下水道使用料とも公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括（振り返り、反省点） 受益者負担金については納付相談による個別対応が効果的なので今後もさらに強化実施していく。 下水道使用料については接続率の向上が使用料の増加に繋がるので、従来の啓発活動を検証し工夫を加えた内容で実施する。																						
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 接続率の向上については、接続件数は着実に増加しているが、毎年整備が終わった地区を供用開始しているために、接続率を一気に上げることは困難な状況にある。		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ① コスト削減優先度評価結果 ⑨																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A：継続（現状維持） B：継続（改革改善を行う） C：終了、廃止、休止 D：2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合） 確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認
---	--